

# 奥口内科クリニック便り

## ～帯状疱疹ワクチン～

帯状疱疹は80歳までに3人に1人が発症するといわれています。発症すると、激しい痛みが生じたり神経痛が残ったりします。帯状疱疹は水ぼうそうと同じウイルスが原因で発症します。このウイルスは水ぼうそうが治療した後も体内の感覚神経の根元に潜んでいます。加齢・疲労などにより免疫の動きが低下すると、ウイルスは再び増殖して神経に伝わって皮膚の表面に達し、痛みを伴います。症状が現れやすい部位は主に胸や背中、腹部や胴回り。左右どちらか片側に現れるのが特徴です。



### <ワクチンの種類と特徴>

	生ワクチン	不活化ワクチン
成分	ウイルスを弱毒化	ウイルスを無毒化
免疫抑制・不全の人	受けれない	受けられる
摂取回数	1回	2回
予防効果	50～60%	90%以上
持続期間	5年程度	10年程度
副反応	接種部位の痛み、腫れ、発赤	筋肉痛、倦怠感、発熱
費用	5000円	22000円

### <帯状疱疹ワクチンQ&A>

Q. 50歳以上で早めに接種したい場合は？

A. 帯状疱疹の発症リスクの高い合併症がある方や、薬剤などで免疫の働きが抑制されている方は、助成がなくても早めの接種を考慮する。

Q.不活化ワクチンの接種を受け、効果薄れる10年後に再接種が必要なのか？

A.特に決まりはありませんが、心配な場合は再接種可能です。しかしその場合は全額自己負担です。

#### <特定健診・基礎健診 実施期間>

基礎健診：令和8年7月1日～令和8年10月31日  
令和9年1月4日～令和9年1月30日

特定健診：令和8年6月1日～令和8年10月31日  
令和9年1月4日～令和9年1月30日

#### <帯状疱疹定期接種>

対象：65歳から100歳まで5歳刻み  
令和8年4月1日～令和9年3月31日